

～～第7697回～～

八紘嶺～大谷嶺

～H27. 6. 14～

梅雨の不安定な天気が続くこの1週間、天気予報もお日さま・雲・傘マークが頻繁に入れ替わる状況である。朝起きるとあいにくの雨、取り敢えず集合場所の静岡駅へ向かう。予定の8人が定刻前に揃った。皆雨具の準備も済ませ行く気満々。とにかくレンタカーに乗り込みワイパーの音を聞きながら梅ヶ島へ向かう。ところが梅ヶ島に近くなると雨が止み、峠への登り道に入ると明るくなり青空ものぞく。今回は夏山訓練のための山行だが、予定を少し短縮して安倍峠分岐駐車場からスタートする。ここから指導標に従って左の道を進み、ブナなどの自然林を登り進めると展望が開け富士見台に着く。しかし我々の期待に反し富士山は顔を見せない。山梨県側が切れ落ちたガレの縁となっている。さらに高度を上げ何回か上り下りをくり返し八紘嶺に到着。この頂上で初めて他のパーティー4名と出会う。名古屋の男性リーダーに広島・関東からの女性3人のツアー登山者で、日影沢から昨日登山小屋に一泊、今日は山伏から八紘嶺まで歩いてきて梅ヶ島温泉に下るそうだ。相変わらず富士山は顔を見せない。八紘嶺からは急坂を下り再び登山を始めると景色も良くなる。日ざしを遮る自然林の中を気持ち良く歩くと大谷嶺(大谷崩ノ頭)に着く。昼食休憩をとった後再び急坂を下り、安倍奥の山々と眼下には大崩落が谷底まで続く大谷崩を見ながら足元の悪い道を進む。1時間弱で鞍部の新窪乗越、左手に歩を変え日本三大崩れの一つと言われるガレ道を落石に注意しながらゆっくり下る。途中、すぐ目の前の草陰から急にカモシカが立ち上がり驚く。若く毛並みのきれいなカモシカで逃げる様子もなく皆携帯でパチリパチリ。ガレ道が終わると扇の要に至り、そのまま緩やかな下りの樹林帯を登山口駐車場まで歩く。待機していたレンタカーに乗り、途中の梅ヶ島温泉で汗を流し静岡駅へ。

参加人員：8名(静岡北2名、静岡葵4名、静岡西2名)

地図：梅ヶ島

コースタイム：静岡駅北口 600＝安倍峠分岐(P)735-50…富士見台…八紘嶺 955-1010…大谷嶺 1215-50…新窪乗越 1340-50…扇の要 1450…駐車場 1530＝(梅ヶ島温泉)＝静岡駅 18:00

静岡葵支部 H. F



大谷崩のカモシカ